

広報紙

水

Water Letter

レ

タ

ー

令和2年

vol.82

臨時号

水源確保のご報告

平素より当企業団上水道事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成28年度より取り組んでおりました恒久的水源の確保につきまして、「五ヶ山ダム完成による受水増量(※1)」を除く5つの策について、令和2年3月までに水源の確保が完了し、給水を開始していることをご報告いたします。

水融通や水源確保にご協力いただきました関係団体・地元関係者の皆様には、心から御礼申し上げます。住民の皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けし、誠に申し訳ありませんでした。今後も、住民の皆様へ安心・安全で安定的な給水ができるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

春日那珂川水道企業団
企業長 井上 澄和

※1 五ヶ山ダムは那珂川上流に建設されたダムですが、降水量の不足により、試験湛水（貯水してダムに問題がないかをチェックするための試験）が終了しておらず、福岡地区水道企業団からの日量1,000m³の受水増量開始時期が遅れています。

このため、福岡地区水道企業団の構成団体のご協力により、融通を継続していただいています。

【不足水量日量16,150m³に対する恒久水源内訳】

(m³/日)

	対策名	水源種別	確保水量	備考	
1	五ヶ山ダム完成による受水増量	受水	福岡地区水道企業団	1,000	遅延により構成団体より融通
2	トンネル湧水・市ノ瀬	表流水	下代久事川	2,910	平成30年4月28日から取水開始
3	トンネル湧水・上梶原		城の谷川	2,930	令和 2年3月25日から取水開始
4	ため池余剰水	湖沼水	白水大池	1,500	令和 2年3月24日から取水開始
5	普通河川・猿山川	表流水	猿山川	3,100	令和 2年3月19日から取水開始
6	普通河川・西畑川		井尻川	4,710	令和 2年3月19日から取水開始
	合計			16,150	

水源確保に係る費用と水道料金について

平成27年度から水源確保等の工事を開始し、これまでに要した費用は約17億8千万円でした。これらの費用については、内部留保資金等(減価償却費等の現金支出を伴わない支出や利益剰余金等)で賄っており、水道料金への影響はありません。しかし、多額の費用を要していることから、今後はより一層の経費節減等を行い、健全経営に努めてまいります。

今後の工事予定について

取水ポンプ施設など取水に必要な施設の工事は令和2年3月に完成しましたが、効率的な取水を行うために、4月以降も水路改修などの工事を引き続き実施します。工事箇所周辺の住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【今後工事を予定している地区】

那珂川市

上梶原地区、下梶原地区、仲地区、東隈地区、別所地区、市ノ瀬地区

再発防止について

違法取水問題の原因究明と再発防止策の検討のため、「春日那珂川水道企業団水源問題に関する第三者調査委員会」を平成28年1月に設置し、調査委員会からの提言をもとに、再発防止と企業風土の改善等に取り組んできました。取組については、「水源問題に関する提言実現のための取組内容検証委員会」で検証いただき、令和2年3月25日に開催された第5回検証委員会において、下記のような講評をいただき、検証委員会は解散することとなりましたが、企業団では引き続き、コンプライアンスの重視に取り組んでまいります。

【検証委員会からの講評】

- 1 第三者委員会からの提言を真摯に誠実に実施したことを評価する。
- 2 懸案であった恒久水源の確保にも一定の目処が立ち、水利権の取得等も適正に行われており、委員一同安堵している。
- 3 企業長に関しては、当初は外部の有識者がベターであると考えていたが、ここ数年の取組の状況、本日の企業長からの回答等を勘案すると現状のシステムでも特に問題がないと判断しているが、水道企業団の今後の運営・発展にとって最も適切な方法をとればよいのではないかと考えている。
- 4 第三者調査委員会からの指摘事項に対して適切に対処し、これが持続的に継続する仕組みが構築されたことを確認したので、当委員会の役割は本日で終了する。

※検証委員会の資料等については、企業団ホームページに掲載しています。